

1. 化学品及び会社情報

製品名 :ORP標準粉末. ORP26P
製造 : 富士精密電機株式会社.
販売 : 富士精密電機株式会社
住所 : 東京都目黒区目黒2-15-14
電話番号: 03-3716-3441
緊急連絡先: 03-3716-3441

2. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名

(1);フタル酸水素カリウム 99.5%以上 (特級)
(2);キンヒドロソ 48~52% (P-ベンゾキノソとして)

化学特性 (示性式) :

(1); C₈H₅KO₄
(2); C₆H₄(OH)₂·C₅H₄O₂

分子量 :

(1); 204.2220
(2); 218.21

官報公示整理番号

化審法 :

(1);3-1272,3-1342
(2);設定されていない

安衛法 :

(1);公表
(2);設定されていない

CAS NUMBER :

(1); 877-24-7
(2); 106-34-3

3. その他

製品安全データシート キンヒドロソ、フタル酸水素カリウム 参照

化学物質等安全データシート

1. <化学物質等及び会社情報>

会社名	: 小宗化学薬品株式会社
住所	: 東京都板橋区東坂下 2-13-15
担当部門	: 行田工場品質管理部
電話番号	: 03-3966-8545
F A X	: 03-3966-8574
緊急連絡先	: 048-556-6261

整理番号 : 13301-7 制定 1993 年 4 月 1 日・改定 2007 年 6 月 22 日

製品名 : キンヒドロン

2. <危険有害性の要約>

GHS 分類 :

急性毒性 (経口) : 区分 3

発がん性 : 区分 2

水生環境有害性 (急性) : 区分 2

GHS ラベル要素 :

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- ・ 飲み込むと有毒
- ・ 発がんのおそれの疑い
- ・ 水生生物に毒性

注意書き :

(予防策)

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ この製品を使用する時は、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

(対応)

- ・ 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。

(保管)

- ・ 施錠して保管すること。

(廃棄)

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. <組成、成分情報>

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名, (別名) : キンヒドロロン, (グリーンヒドロキノン)
成分及び含有量 : 48~52 % (ベンゾキノンとして)
化学式又は構造式 : $C_6H_4(OH)_2C_6H_4O_2$
官報公示整理番号 : 化審法 ー ー
CAS No. : 106-34-3
TSCA 登録 : 有り
EINECS No. : 203-387-6

4. <応急措置>

目に入った場合 : 直ちに流水で 15 分間以上洗眼し、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、付着した部分を多量の水で十分洗い流す。
吸入した場合 : 直ちに水、温水を用いてうがいをする。患者を新鮮な場所に移し、状況に応じて医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 毛布等で保温して安静にさせる。多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。速やかに医師の手当を受ける。患者に意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

5. <火災時の措置>

消火方法 : 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。
燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業には保護具を着用する。
消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素

6. <漏出時の措置>

飛散したものは空容器に出来るだけ回収し、その後は多量の水で洗い流す。作業の際には保護具を着用し、風下で作業しない。

7. <取扱い及び保管上の注意>

取扱い : 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。作業は風下で行わない。可燃性なので火気注意。
保管 : 冷暗所に密封して保管する。酸化剤と一緒にしない。
EU リスク警句 (R)、EU 安全勧告 (S) :
R : 22-50
S : 24/25-61

8. <暴露防止及び保護措置>

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会 (2003 年版) : 設定されていない。

ACGIH (2003 年版) : 設定されていない。

(参考) ベンゾキノン ACGIH (1997 年版) : TWA (8 時間) 0.1ppm (0.44mg/m³)

ヒドロキノン ACGIH (1997 年版) : TWA (8 時間) 2mg/m³ , A3

設備対策 : 粉塵が発生する場所では局所排気装置, 設備の密閉化, 全体換気装置等を設置する。身体洗浄施設を設置する。

保護具 : 防塵マスク, 保護眼鏡, 保護手袋, 保護衣等必要に応じて着用する。

9. <物理的及び化学的性質>

外観等 : 緑色細針状の結晶又は結晶性粉末

沸点 : -- °C , 蒸気圧 : -- mmHg (-- °C)

揮発性 : 常温で分解し、ベンゾキノンは昇華する。

融点 : 171 °C

比重 : 1.401 (20°C)

溶解度 : 水にわずかに溶ける。0.4g/100ml (20°C)

熱水に溶けやすい (褐色の液を生じる)。

エタノール、エーテルに黄色を呈して溶け、石油エーテルに溶けない。

その他 : 多くのキンヒドロンは結晶の場合だけ両成分 (ベンゾキノンはヒドロキノン) の間の分子化合物として存在し、水又はアルコール等の溶媒に溶かすと溶液中で複雑な平衡が成立するが、一般に中性溶液ではほとんど完全にベンゾキノンはヒドロキノンとに解離している。また、常温で分解してベンゾキノンは昇華する。以下、キンヒドロンの情報が少ない項目については、ベンゾキノンはヒドロキノンの参考データを記載する。

10. <安定性及び反応性>

引火点 : -- °C (密閉)

発火点 : -- °C

爆発限界 上限 : -- % 下限 : -- %

可燃性 : 有り。

発火性 (自然発火性、水との反応性) : --

酸化性 : --

自己反応性・爆発性 : --

粉じん爆発性 : 粉末で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性はある。

安定性・反応性 : 塩化鉄 (III) その他の酸化剤により p-ベンゾキノンは酸化され、亜硫酸その他の還元剤によってヒドロキノンは還元される。

11. <有害性情報>

皮膚腐食性 : データなし。

刺激性 (皮膚、眼) : 眼、鼻、喉の粘膜を強く刺激する。眼に入った場合は角膜

障害を起こすことがある。

感作性 : 長期間の皮膚との接触は皮膚炎を起こすことがある。

急性毒性 : $LD_{50} = 225 \text{ mg/kg}$ (経口 ラット) (RTECS)

(参考) ヒド[®]キノ : 1g を嚥下すると食道を刺激し、耳なり、吐き気、嘔吐、腹痛、
虚脱が起き、5g では致死する。

亜急性毒性 : 動物実験では少量の投与でラットの代謝を阻害する。

(参考) ベソ[®]キノ : これの製造あるいは取扱を長期間続けていると水晶体濁濁、
潰瘍等角膜障害を生じ、動物実験では血液中にメトヘモグロ
ビンを生成し、腎臓障害、肺水腫を起こし、皮膚炎、皮膚壊
疽を生ずる。

ヒド[®]キノ : 蒸気、粉塵、煙霧と長時間接触していると皮膚、粘膜を刺激し、
眼の水晶体濁濁が起こる。

がん原性 : ヒド[®]キノ (IARC ; グループ 3, ACGIH ; A3)

変異原性、生殖毒性、催奇形性 : データなし。

12. <環境影響情報>

分解性 : データなし。

(参考) ヒド[®]キノ : 分解性が良好と判断される物質である。

蓄積性 : データなし。

魚毒性 : 水生生物に強い毒性がある。

(参考) ヒド[®]キノ : LC_{50} (96hrs) : 0.64 mg/l (ニジマス)
 $LC_0=0.1 \text{ mg/L}$, $LC_{100}=0.25 \text{ mg/L}$ (金魚)

その他 : データなし。

(参考) ヒド[®]キノ : オクタノール/水分配係数 0.50~0.59

13. <廃棄上の注意>

エタノール等の可燃性溶剤と混合して焼却炉で処分する。

還元してヒドロキノンとし、少量ずつ生物処理する。

もしくは都道府県知事の許可をうけた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. <輸送上の注意>

安全対策 : 火気厳禁。高温多湿、直射日光を避ける。

運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれ
の防止を確実にを行う。

国連分類 : クラス 9 (有害性物質) , 国連番号 : 3077

15. <適用法令>

労働安全衛生法 : 該当しない。

化管法 (PRTR 法) : 該当しない。

消防法 : 該当しない。

毒物劇物取締法 : 該当しない。

16. <その他の情報>

参考資料

14504 の化学商品 化学工業日報社

環境化学物質要覧 環境庁環境化学物質研究会 編

-
- ※ 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
 - ※ 記載内容は情報を提供するもので、いかなる保証をなすものではありません。
 - ※ 注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
-

製品安全データシート



1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (特級) フタル酸水素カリウム Potassium hydrogen phthalate
(一級) (標準物質) (pH測定用)
整理番号 63260
作成日 2006年10月4日

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-4-16
電話番号 03-3270-5411 FAX番号 03-3241-8298

●緊急連絡先(MSDS作成担当)

担当部門 品質保証部 担当者 菅野英奇
担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1-6
電話番号 048-986-6161 FAX番号 048-989-2787
E-mail: h_kanno@junsei.co.jp
<http://www.junsei.co.jp>

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS分類】(純正化学分類)

健康に対する有害性

急性毒性 経口 : 区分外

経皮 : 区分外

環境に対する有害性

水性環境急性有害性 : データ不足のため分類出来ない

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHSラベル要素】

【GHS絵表示】

なし

【注意喚起語】

なし

【危険有害性情報】

なし

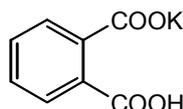
【注意事項】

なし

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品

化学名:フタル酸水素カリウム
示性式又は分子式: C₈H₅KO₄
CAS No.:877-24-7
含有量:(特級)99.8% (一級)99.0% (pH測定用)99.9%
(標準物質)99.95%
化審法:3-1272, 3-1342
安衛法:公表
構造式



4, 応急措置

- 吸入した場合:新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
- 皮膚に付着した場合:汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
- 眼に入った場合:先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。
- 飲み込んだ場合:意識あるなら、口をすすぎ、2-4杯の牛乳か水を与える。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

5, 火災時の措置

消火剤

水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性:データなし

特有の消火方法:データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具:

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- －蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。
- －作業場を換気する。
- －作業中は飲食、喫煙をしない。
- －強酸化剤との接触に注意する。

保管

- －火気厳禁。
- －密栓して換気の良い冷暗所に保管する。
- －強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気:換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

暴露限界:規制値は設定されていない

設備対策

局所排気装置

保護具

- －防塵マスク。送気マスク、空気呼吸器等。
- －不浸透性保護手袋。
- －安全ゴーグル。
- －不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観:白色結晶又は白色結晶性粉末

臭い:データなし

pH:弱酸性

融点:295-300°C以上

沸点:データなし

引火点:データなし

爆発範囲の上限・下限:データなし

蒸気圧:データなし

蒸気密度:データなし

比重(相対密度):1.6362(4°C/25°C)

溶解度:水に溶ける。10.23g/100ml(25°C), 12.67g/100ml(35°C)

n-オクタノール/水分配係数:データなし

自然発火温度:データなし

分解温度:データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性:常温常圧で安定

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など):データなし

混触不可物質:強い酸化剤

危険な分解生成物:

危険な重合反応:しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口 (区分外)
LD50 > 3200mg/kg ラット
急性毒性 経皮 (区分外)
LD50 > 1g/kg モルモット

12, 環境影響情報

水性環境急性有害性
Population : 1g/L /96hrs Dinoflagellate
Population : 0.5g/L /96hrs Dinoflagellate

—残留性・分解性:データなし
—生体蓄積性:データなし
—土壌中の移動性:データなし

13, 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号:非該当
品名:
国連分類:
容器等級:
海洋汚染物質:非該当

15, 適用法令

消防法:非該当
毒劇法:非該当
PRTR法:非該当
労働安全衛生法:安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号):非該当

16, その他の情報

参考文献
—メルクインデックス13版 7696
—STNインターナショナル RTECS ファイル ACQUIRE ファイル
—危険物船舶運送及び貯蔵規則;危険物総索引(九訂版)日本海事検定協会(海文堂)
—NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)

コメント

63260

フタル酸水素カリウム

2006年10月4日

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。